



| 特集 |

海の外へ渡る



アウトバウンドにまつわるetc.

COVID-19のパンデミックも終わりを告げた今、以前のように海外旅行に行く人（アウトバウンド）が増えています。また海外からの旅行者・労働者の入国制限が緩和され、インバウンド人口が再び増加しています。いつもの外来診察室で「今度海外旅行に行こうと思っているんですけど…」という相談を受ける機会も増えてくると思います。皆さんは、自信をもって対応できるでしょうか？ また、「3日前に海外から帰ってきたのですが、昨日から熱が出てきて…」という患者さんを的確にマネジメントできますか？

本特集では、「海外旅行」に関連して、読者の皆さんが遭遇する可能性の高い場面について、“これは知っておきたい!”という感染症や渡航医学の知識をまとめてみました。日々の臨床にお役立ていただけましたら幸いです。

企画 | 萩谷英大



航行者を診る



今月の Questions

- Q1 渡航後の患者さんを診る時に注意するポイントは? >>> 1414
- Q2 受け持ち患者が「これから海外旅行に行く」と相談を持ち掛けてきたとする。
外来主治医として、何をすべきか? >>> 1418
- Q3 ワクチン接種の依頼を受けたら、どのように対応したらよいか? >>> 1422
- Q4 マラリア流行地域へ渡航後の発熱をみた時に確認することは? >>> 1427
- Q5 渡航後の発熱で、どんな時にレプトスピラ症を疑ったらよいか? >>> 1432
- Q6 旅行者下痢症の患者で、血性下痢がみられる場合の重症度と治療方針は? >>> 1437
- Q7 排便後に「ムシ」の存在に気づいたと患者が受診した。どのようにアプローチするか? >>> 1441
- Q8 狂犬病を発症した際の致死率は? >>> 1444
- Q9 蚊媒介感染症の将来の動向はどのように予想されるか? >>> 1447
- Q10 AMR対策として、医療者が日頃から実践できる対応策は? >>> 1450
- Q11 持病のある患者が航空機に搭乗する際に、注意すべき事項は? >>> 1453
- Q12 いわゆる新興・再興感染症を疑った時はどうすればよいか? >>> 1456
- Q13 性感染症の症状で最も頻度が高いものは何か? >>> 1459
- Q14 海外での公衆衛生の状況を知るうえで参考となることは? >>> 1463
- Q15 過去に発生したマスギャザリングでの感染症を知ることは何か? >>> 1466
- Q15 言葉が通じない外国人に対処するには? >>> 1469
- Q16 将来起こりうるパンデミックに対して、私たちがすべきことは何か? >>> 1472